

静岡県狩野川流域下水道事業経営戦略（改定後）【概要版】

○策定及び改定の趣旨（第1章）

<p>策定の趣旨 対象事業：狩野川流域下水道事業（1流域2処理区） 目的：事業を取り巻く経営環境の変化に対応するため、中長期的な経営方針や投資・財政の基本計画を定める。 計画期間：令和2年度～令和11年度の10年間（令和6年度見直し）</p>	<p>改定の趣旨 背景：経営戦略は5年に一度見直す予定としていた。また、総務省も令和7年度までに見直し率を100%にするよう求めている。 留意事項：物価上昇傾向、GX及びDXの取組について適切に反映する。</p>
---	---

○現状分析と課題（第2章）/事業の将来予測（第3章）/基本理念（第4章）/基本方針に係る取組（第5章）

基本理念：下水道のA5ランクを目指します。安定・安全・安心・安価・愛（啓発）

経営課題

- ・人口減少による汚水処理量の減少
- ・施設・設備の老朽化
- ・激甚化する自然災害
- ・地球温暖化対策
- ・効果的・効率的な業務運営
- ・下水道愛の醸成

取組：経営の健全性の確保

施策：適正な維持管理費負担金の設定（継続）
⇒適正な負担金単価設定による収入の確保

施策：官民連携の強化【新規】
⇒更なる業務コスト削減効果が得られる民間委託方式（ウォーターPPP等）を検討

施策：新たな経営管理指標を追加【拡充】
⇒債務に対する健全性の評価のため、流動比率、企業債残高対事業規模比率を管理指標に追加

取組：安定した下水道サービスの提供

施策：「ストックマネジメント計画」に基づく長寿命化（継続）
⇒施設、設備の計画的な点検等に基づく修繕・更新
⇒5年間で全管路の管路内を点検するとともに、管路上の道路舗装面点検も月2回実施

施策：人材育成と技術継承【拡充】
⇒専門性の高い研修や、実地研修の充実

取組：災害に強い下水道

施策：地震対策の推進【拡充】
⇒上下水道耐震化計画により、能登半島地震を踏まえた対策を実施

施策：雨天時浸入水対策の推進【拡充】
⇒流域市町と協力した早期の計画策定及び対策の推進

施策：業務継続計画（BCP）の充実（継続）
⇒関係市町や関係団体との訓練の充実、PDCAサイクルの定期的な実施

流域下水道位置図（県管理）

取組：新たな汚水処理の取組

施策：広域化・共同化の促進【拡充】
⇒市町のし尿処理場や集落排水施設の編入を推進

施策：下水道事業のDX化【新規】
⇒GISと連携した施設・維持管理情報の一元化
⇒管路点検にAIを活用する等の新技術を検討

施策：循環型社会への貢献【新規】
⇒消化ガス発電や省エネ機器の導入を検討
⇒污泥の堆肥化施設の建設等を検討

取組：下水道の普及啓発活動の取組

施策：広報活動（継続）
⇒浄化センター見学会、マンホールカードの作成

施策：ソーシャルメディア等を活用した情報発信（継続）
⇒SNSを利用した情報発信
⇒「下水道だより」の作成と発信

○投資・財政計画（第6章）/事後検証・更新等（第7章）

投資財政計画の試算

○ 財政収支計画については、市町が見込む今後10年間の計画下水量から物価上昇等を考慮した維持管理費用を基に算出している（令和6年度単価改定による）。なお、10年間で市町へ約10.0億円の累積資金（※）還元額を見込んだ計画としている。
 （※）不測の事態においても3ヶ月間処理場の運転が可能な資金。
 18.5億円（R6年度末残高）－8.5億円（目標額：R6見直し）＝10.0億円（還元額）
⇒還元額を踏まえた資金ベースでの収支均衡を見込んでいる。
 （当年度純利益は市町へ累積資金を還元するため、令和7年度以降は赤字となる見通し）
⇒令和16年度末の累積資金残高は8.5億を想定しており、資金不足による経営上の支障はない。

【収益的収支及び当年度純利益の見込】

【資本的収支及び企業債残高の見込】

【累積資金残高の推移】

科目	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
(A) 当年度純利益(又は純損失)	▲ 37,672	▲ 20,773	▲ 9,168	▲ 110,857	▲ 161,231	▲ 158,917	▲ 165,105	▲ 208,317	▲ 220,448	▲ 296,227
(B) 損益勘定留保資金	491,105	505,690	570,731	618,284	609,798	639,668	602,717	600,475	574,412	669,270
(C) 資本的収支	▲ 563,453	▲ 568,398	▲ 660,607	▲ 635,004	▲ 558,899	▲ 551,508	▲ 541,390	▲ 504,307	▲ 472,327	▲ 440,649
(A) + (B) + (C) 不足額(還元額)	110,020	83,481	99,044	127,577	110,332	70,757	103,778	112,149	118,363	67,606
累積資金残高(補填後)	1,744,337	1,660,856	1,561,812	1,434,235	1,323,903	1,253,146	1,149,368	1,037,219	918,856	851,250

A + B (A + B = 収益的収支の資金ベースの収支) + C + 還元額 = 均衡資金収支

事後検証・見直し

- ・毎年度PDCAを行い、適切な評価に基づく改善を実施。
- ・令和11年度に第2期の計画策定、令和16年度に中間見直しを実施。